

朝日桜

母校創立135周年

第26回全国都市緑化お

平成21年4月4日(土) 岡山朝日

それぞれの卒業生、平井信雄校長、高祖日出夫同窓会理事長が、植樹のスコップの柄を取りました。その後、それぞれの校歌を全員で斉唱。桜のそばに置かれた記念碑のお披露目も行いました。

植樹の後は、甘酒が振舞われ、参加者は、少し冷えた体を温めながら話を弾ませていました。

午後3時からは、大講堂でコンサートが開催されました。

第1部
は、平成14年から20年に卒業した岡山朝日高校管弦楽部OB有志による演奏、昭和44年卒の



杉本さん率いる岡山交響楽団ホルントリオの演奏。

第2部は昭和58年卒の今

井さん演奏のパンフルートに合わせ皆で歌を歌いました。

クラシックからポピュラー・童謡まで幅広い演目が演奏されたミニコンサートでした。

皆さまも機会があるときには毎年大きくなっていく桜をぜひ御覧なりに母校に立ち寄ってみてください。



ずです。秋から来春にかけてが楽しみです。ソメイヨシノは実をつけないのが普通ですが、その実を山崎チーフがみつけて大事に保管しています。来春発芽して育ったとしたら、生物学的にも興味がありそう、これも楽しみのひとつです。

また、第六高等学校にちなんだ、六高菊桜が数本六高記念館の近くにありますが、六高菊桜を絶やさない、三年程前に若い木が六本補植されました。継ぎ木で育てたものですから、高さ一メートル位でりっぱな花をつけていました。

朝日高の広い校庭には、桜だけではありません。沢山の樹木が緑豊かな枝を広げて、「いつきしきき舎」のいつくしい環境を造り上げています。

山茶花の赤い花が外周を飾り、楠や銀杏などの大木がいていと聳えています。この環境は六高時代から引き継いだ、他の学校にはない優れた、誇るべきものと思います。

三本の山桜がこれから何百年も、千年を超えて、他の樹木とともに「のぼる日の名に負う」朝日高を守り、育ててくれることを心から期待します。このことは私達同窓生の願いでもあります。

谷 義仁（昭和二十五年卒 朝日高校第一期生）

